

あまさぽだより

海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター



第5号

令和6年1月

令和5年6月24日 第5回日本在宅医療連合学会大会の入退院支援シンポジウム (新潟県朱鷺メッセ)

目次

- 「あまさぽだより」第5号発行にあたり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
海部医療圏在宅医療・介護連携推進協議会 会長 平野高水
- 「あまさぽ」の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 「あまさぽ」の取組について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - I 令和4年度 出張教室・研修会〔令和5年1月～3月〕・・・・・・・・・・ 4
 - II 令和5年度
 - 1. 研修会〔令和5年4月～12月〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5－6
 - 2. 講演会〔令和5年4月～12月〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - 3. 出張教室〔令和5年4月～12月〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - 4. 地域行事参加〔令和5年4月～12月〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
 - 5. 愛知県入退院調整支援事業〔令和5年4月～12月〕・・・・・・・・・・ 10
 - 6. 相談対応件数〔令和5年4月～12月〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
 - III 今後の予定〔令和6年1月～3月〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

○「あまさぼだより」第5号発行にあたり

平素は海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）事業にご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、昨年5月8日に感染症分類が2類相当から5類に移行されました。その後、8か月以上が経過し、新規患者の発症は続いておりますが、コロナ前の社会生活が戻りつつある感じがしております。

すべての団塊の世代が後期高齢者になる2025年まで、残すところ1年となりました。

今後、地域にも今まで以上に新たな課題が出てくるかもしれません。

当センターでは、引き続き行政・地区三師会・介護関係者・地域包括支援センター等と多職種連携を図りながら、海部医療圏の地域性に適した地域包括ケアの体制整備に努めてまいります。

海部医療圏在宅医療・介護連携推進協議会
会長 平野高水

○「あまさぼ」の概要

名称 海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（通称：あまさぼ）
構成団体 海部医療圏内の7市町村
（津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村）
設立 平成30年4月1日
設置場所 津島市役所 神守支所内（住所：津島市神守町字五反田2番地）
職員 5名（現体制：看護師2名、事務職3名）

【あまさぼ基本理念】

多職種が連携して支える安心な広域のまちづくり

～地域の人々がいつまでも健やかに心豊かに暮らせるために～

【海部医療圏地域包括ケアサミット共同宣言文】（平成31年2月）

1.だれもが当事者、みんなでつくろう住みよい地域

～みつけよう、自分にできること～

2.多職種連携で支える安心なまちづくり

○「あまさぼ」の取組について

海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（通称：あまさぼ）は、在宅医療・介護連携推進事業について、海部医療圏内の7市町村（津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村）が共同で運営すべく、平成30年4月1日に設立されました。

海部医師会、津島市医師会の両医師会の協力のもと、7市町村が協働して医療・介護関係者と多職種による連携体制の構築を目指し、その中でもあまさぼは事務局として中心的役割を担っています。

各ワーキンググループによる地域課題の把握や情報共有に始まり、多職種で構成される会議を通じ検討・議論を重ね、多職種で解決に向けた取り組みができる仕組みづくりに努めています。

また、各ワーキンググループ等の意見から課題となるテーマを選び、研修会を開催することや、個別の支援として在宅医療・介護連携に関する各種相談に対応することも、あまさぼの重要な役割となっています。

一方、この地域で暮らす住民の皆さんに向けて、在宅医療・介護連携に関する普及啓発のための講演会の開催や出張教室を実施するとともに、地域イベントへの参加にも積極的に取り組んでいます。

次ページ以降に、令和5年1月から令和5年12月までの主な取り組みについて報告します。

I 令和4年度 出張教室・研修会〔令和5年1月～3月〕

○出張教室

蟹江町

日 時：令和5年3月7日（火）
10：45～11：45

場 所：蟹江町中央公民館分館

講 座：「お医者さんとの上手な付き合い方」

対 象：蟹江町長寿連合会



3/7 蟹江町中央公民館分館

【目的】

受診の必要性や医療機関の選択等を適切に理解し、受診することで（医療提供者側の負担が軽減され）医療の質、安全の確保につながることから、かかりつけ医を持つことについて周知する。

○緩和ケア多職種連携研修会

日 時：令和5年3月9日（木）
18：00～19：30

場 所：Zoomによるオンライン

内 容

①講義：「緩和ケア領域の『せん妄』」

講師：佐々木 翼 先生

（海南病院 精神科代表部長）

②事例検討：

「在宅・病院等でせん妄の対応に困った症例」

パネリスト（敬称略）

海南病院：佐々木翼、野々垣禅、青木佐知子、

津島市民病院：高木健司、小澤太嗣、浅野照美

参加者：45名

令和4年度 緩和ケア多職種連携研修会

日 時
令和5年3月9日（木）18時～19時30分

参加費
無料

プログラム1 講義
『緩和ケア領域の「せん妄」』
佐々木 翼 先生（海南病院 精神科代表部長）

プログラム2 事例検討
『在宅・病院等でせん妄の対応に困った症例』
パネリストによる討議
海南病院：佐々木医師、青木医師、野々垣医師
津島市民病院：小澤医師、高木医師

目的：せん妄を理解することにより、本人・家族が穏やかに過ごせること、そして自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、地域の中での緩和ケアのあり方を皆様と一緒に学んでいきましょう。

参加方法 Zoomによるオンライン

対象者 海部医療圏の医療・介護関係者

申込み 【URL】
<https://forms.gle/d3JC7unDEyYA5gAA>
【申し込み期限：3月6日（月）】
申し込み後、受付終了メールが届かない場合は、高まきほへお問い合わせください。

共催 JA聖知厚生連 海南病院、津島市民病院
海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまきほ）

問い合わせ先：海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまきほ）
TEL：0567-52-5999
Eメール： ama@spil.or.jp

【目的】

がん患者の在宅医療では、人生の最終段階を穏やかに過ごせるよう、地域全体で取り組む緩和ケア（地域緩和ケア）を、地域の多職種が連携し地域づくりを進める。

【アンケートより】

対応困難事例を共有することで、多職種の連携や家族を含めた指導の必要性などを認識する機会になった。多職種連携の視点から医療、看護、介護、地域などへの期待や役割の理解が大切（必要）などの回答をいただきました。

Ⅱ-1. 令和5年度 研修会〔令和5年4月～12月〕

○地域包括ケア多職種合同研修会

日 時：令和5年9月24日（日）10：00～12：00

場 所：海南病院 教育研修棟3階 講堂1

テーマ：～コロナ禍を振り返り、連携を推進する～

内 容

①講演・報告：近藤良伸 氏、小粥一成 氏、山口真由美 氏
朝倉進 氏、樋田佳之 氏、坂本菜緒 氏

②グループワーク

参加者：47名

共 催：愛知県看護協会海部地区支部、
愛知県医療ソーシャルワーカー協会海部ブロック



共催 愛知県看護協会 海部地区支部
愛知県医療ソーシャルワーカー協会 海部ブロック
海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさほ）

令和5年度 地域包括ケア多職種合同研修会
～コロナ禍を振り返り、連携を推進する～

日時 2023年 9月24日（日）10:00～12:00（受付9:30～）
先着50名

会場 海南病院 教育研修棟3階 講堂1
※裏面地図参照

対象 海部医療圏の医療・介護関係者
（要事前申込・参加費無料）

趣旨 新型コロナウイルスは、5類感染症に移行された今も警戒が必要な状況です。未曾有のコロナ禍で、愛知県、病院、クリニック、施設、ケアマネジャー、そしてあなたは、どんな状況であったでしょうか。当時、愛知県感染症対策局技監を担われた津島保健所長をはじめ各分野のコロナ体験を知り、機能分担と連携を深めます。

内容 ○講演・報告：近藤良伸 氏（津島保健所長）
看護師・MSW・施設相談員・ケアマネジャー
○グループワーク：全員参加

申込 [URL]
<https://forms.gle/KmojqoH9cpVA35aGA>
申込締切：9月18日（月）

問合せ先 海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさほ）
EMAIL: amc.sp@clovernet.ne.jp TEL: 0567-58-5989



【目的】

医療・介護関係者を対象にお互いの業務の現状、専門性や役割を知り、在宅医療と介護の連携を円滑にする（それぞれの職種がお互いの分野についての知識などを身につける）。

【アンケートより】

医療・介護の各職種からのコロナ禍の経験や工夫をお互いに意見交換することにより、地域連携の重要性が実感できた等、顔の見える関係、協働の必要性などの回答をいただきました。

○海部医療圏在宅医療・介護関係者研修会

日時：令和5年10月21日（土）14：00～15：30

場所：Zoomによるオンライン

講演：「地域の災害対策の考え方と実践～BCPにつなげる～」

講師：清水 宣明 先生

（愛知県立大学 看護学部・看護学研究科 教授）

参加者：81名



津波
(浸水想定)

参加無料

令和5年度
海部医療圏在宅医療・介護関係者研修会

**地域の災害対策の考え方と実践
～BCPにつなげる～**

講師 愛知県立大学
看護学部・看護学研究科
教授
医学博士 **清水 宣明**先生

「講師経歴」
1989年 群馬大学大学院医学系研究科修士課程修了（医学博士）
2013年～現在 愛知県立大学看護学部・看護学研究科 教授
2021年～現在 同大学・地域災害弱者対策研究所 所長
「研究」
・新型コロナウイルスの感染制御に関する研究（愛知県立大学）
・地域弱者のための対策策定システムの構築（愛知県、名古屋市）
・新型コロナウイルスパンデミックでは、発生当初から愛知県内の多数の保育園等の対策にあたる一方、TV局や新聞などのメディアへ1千回を超えるコロナ解説やコメントを発信している。

日時 令和5年 **10月21日(土)** 14:00～15:30

開催方法 オンライン開催 ※Zoomウェビナー使用

対象 海部医療圏の医療・介護関係者等 100名程度 【二次元コード】

申込 【申込フォーム】
<https://forms.gle/ma1x47GpFj2LSqTK9>

締切 令和5年 **10月13日(金)**まで

問合先：海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター(あまさほ)
TEL:0567-58-5989 EMAIL:amc.sp@clovernet.ne.jp

主催：海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター(あまさほ)
後援：海部医師会・津島市医師会

【目的】

昨今、災害が頻発している中、地震、台風など自然災害や感染症からの被害を最小限に抑え、平時から不測の事態に備える。住民、行政、地域の医療、介護、福祉をはじめ連携、協働により災害弱者を想定しお互いを守れるよう考える機会となること。

【アンケートより】

自宅で避難して助けを待つ方が安全、垂直避難に納得した、自分が何をしたら良いのかがイメージしやすかったなど有意義であったとの回答を多くいただきました。

II-2. 令和5年度 講演会〔令和5年4月～12月〕

○地域住民普及啓発講演会

日 時：令和5年11月25日（土）14：30～16：00

場 所：飛島村すこやかセンター 集会室

講 演：「自分らしい生き方」～私がしてほしいこと、私ができること～

講 師：齊藤 妙子 先生

（一般社団法人 日本救急蘇生普及協会 常務理事）

参加者：93名



令和5年度在宅医療・介護連携推進事業 地域住民普及啓発講演会

「自分らしい生き方」

～私がしてほしいこと、私ができること～

参加無料

自分らしきとは何か。自らのことを改めて考え、どのように最期を迎えることが自分らしい生き方なのか。また、大切な人は何を望んでいるのか。何ができるだろうか。体験談を通して考えてみましょう。

講師 齊藤 妙子 先生
(一般社団法人 日本救急蘇生普及協会 常務理事 他)

日時 令和5年11月25日（土）
14時30分～16時（14時開場）

会場 飛島村すこやかセンター 集会室
(〒490-1434 飛島村大字松之郷三丁目46番地の1)

対象 どなたでもご参加いただけます **定員** 100名
(要事前申込)

申込 下記のいずれからお申込ください。
①【URL】<https://forms.gle/YJJa8kT8iDD8nvxc6>
②【電話】0567-58-5989 (二次元コード)
③【FAX】0567-58-4559
※FAXの方は裏面申込書をご使用ください

申込締切：11月13日（月）

問合せ：海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさほ）
TEL：0567-58-5989（平日8時30分～17時）

主催 海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター **後援** 海部医師会 津島市医師会

【目的】

ご自身やご家族、大切な人が最期を迎えるにあたり、体験談を通してそれぞれの立場で何ができるのかといった、価値観を繰り返して共有するための話し合いの場を持つきっかけとしていただく。

【アンケートより】

自分らしく生きること、話し合いの大切さを感じ、実践に向けて取り組んでいきたい。などといった、家族や大切な人との『想いの共有』へ繋がる回答を多くいただきました。

Ⅱ-3. 令和5年度 出張教室〔令和5年4月～12月〕

津島市や地域の団体に向けた出張教室を行いました。
認知症を通してACPの取組や在宅医療・介護連携に関する普及啓発をすることで、あまさぽの活動を知っていただく機会にもなりました。

津島市

日時：令和5年7月19日（水）9:00～10:30

場所：津島市立看護専門学校

テーマ「地域医療における在宅医療・介護連携について」

対象：津島市立看護専門学校 3年生

蟹江町

日時：令和5年10月19日（木）14:00～15:00

場所：富吉コミュニティ会館

テーマ：「いきいき健康百歳塾～いつまでも自分らしく～（認知症になっても）」

対象：富吉健康サロンの会



10/19 富吉コミュニティ会館



7/19 津島市立看護専門学校

Ⅱ-4. 令和5年度 地域行事参加〔令和5年4月～12月〕

市町村の地域行事に参加し、在宅医療の普及啓発パネルを展示するとともに、あまさぼのチラシ、普及啓発グッズを配布するなど地域の方々に在宅医療に対する普及啓発を行いました。

また、地域課題を把握するため、在宅療養や人生会議（ACP）、かかりつけ医、かかりつけ歯科医及びかかりつけ薬局についてのアンケートを実施しました。

愛西市 あいさいさん祭り

日 時：令和5年10月29日（日）9：00～15：00

場 所：愛西市役所

蟹江町 泉人まつり2023

日 時：令和5年10月29日（日）10：00～14：00

場 所：蟹江町多世代交流施設「泉人」

飛島村 健康福祉祭

日 時：令和5年11月5日（土）9：00～12：00

場 所：飛島村すこやかセンター



10/29 愛西市役所



10/29 蟹江町多世代交流施設「泉人」



11/5 飛島村すこやかセンター

Ⅱ-5. 令和5年度 愛知県入退院調整支援事業

第8期介護保険事業計画及び第7次医療計画に基づき、地域の入退院調整支援ルール策定のモデル圏域として、愛知県より海部医療圏が選定され、令和3年より3か年計画で国立長寿医療研究センター主導のもと、入退院調整支援ルール策定に取り組んでおります。

令和3年度はキックオフ会議に始まり、海部医療圏内7市町村の行政・地域包括支援センター・ケアマネジャーの代表が、研修を通じて地域の現状把握や地域課題の抽出を行いました。

翌年の令和4年度には、上記メンバーに医療圏内の基幹病院のMSWなどを交え、具体的なモデルルール案を検討しました。

そして、海部医療圏と同じくモデル医療圏に選定されている尾張北部医療圏の医療・介護関係者の方々との活動成果の発表会が令和5年2月に開催されました。

最終年度である令和5年6月に、新潟県で開催された「第5回日本在宅医療連合学会大会」において、取り組み中の報告や課題について尾張北部医療圏と海部医療圏が合同で発表する機会をいただきました。その後、暫定で作成したモデルルール案を約3か月間試行し、その結果から課題抽出と見直しを行い、来年度以降医療圏内で共通のルールとして運用できるよう、新たに運用組織を立ち上げることを検討しています。

誰もが住み慣れた地域で、いつまでもその人らしく暮らし続けることができるよう、顔の見える関係を構築し、多職種で取り組む地域包括ケアシステムづくりを推進していきたいと考えています。



6/24 第5回日本在宅医療連合学会大会（新潟県朱鷺メッセ）

II-6. 令和5年度 相談対応件数 ※令和5年12月31日時点

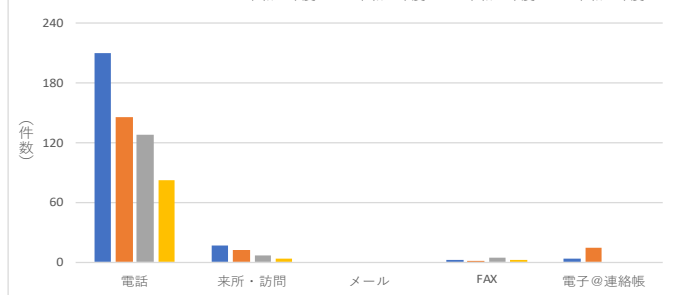
1. 相談件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 令和2年度 | 16 | 19 | 32 | 19 | 24 | 16 | 20 | 18 | 23 | 24 | 10 | 11 | 232 |
| 令和3年度 | 21 | 20 | 18 | 13 | 11 | 13 | 13 | 19 | 10 | 8 | 15 | 11 | 172 |
| 令和4年度 | 12 | 11 | 12 | 13 | 20 | 9 | 12 | 6 | 14 | 14 | 10 | 7 | 140 |
| 令和5年度 | 7 | 15 | 11 | 7 | 9 | 10 | 8 | 11 | 10 | | | | 88 |

2. 相談方法

| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| 電話 | 210 | 145 | 128 | 82 |
| 来所・訪問 | 17 | 12 | 7 | 4 |
| メール | 0 | 0 | 0 | 0 |
| FAX | 2 | 1 | 5 | 2 |
| 電子@連絡帳 | 3 | 14 | 0 | 0 |
| 合計 | 232 | 172 | 140 | 88 |

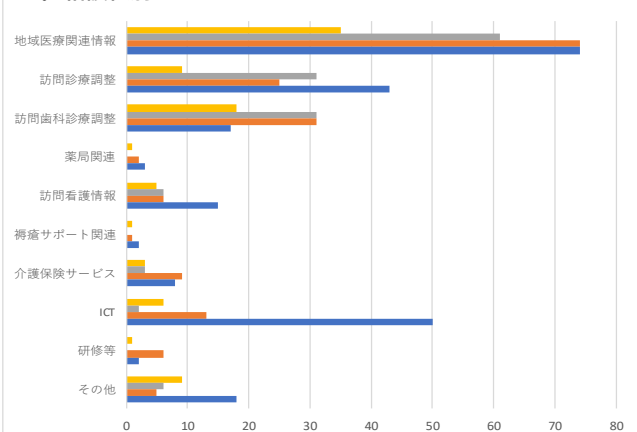
2. 相談方法



3. 相談種別

| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| 地域医療関連情報 | 74 | 74 | 61 | 35 |
| 訪問診療調整 | 43 | 25 | 31 | 9 |
| 訪問歯科診療調整 | 17 | 31 | 31 | 18 |
| 薬局関連 | 3 | 2 | 0 | 1 |
| 訪問看護情報 | 15 | 6 | 6 | 5 |
| 褥瘡サポート関連 | 2 | 1 | 0 | 1 |
| 介護保険サービス | 8 | 9 | 3 | 3 |
| ICT | 50 | 13 | 2 | 6 |
| 研修等 | 2 | 6 | 0 | 1 |
| その他 | 18 | 5 | 6 | 9 |
| 合計 | 232 | 172 | 140 | 88 |

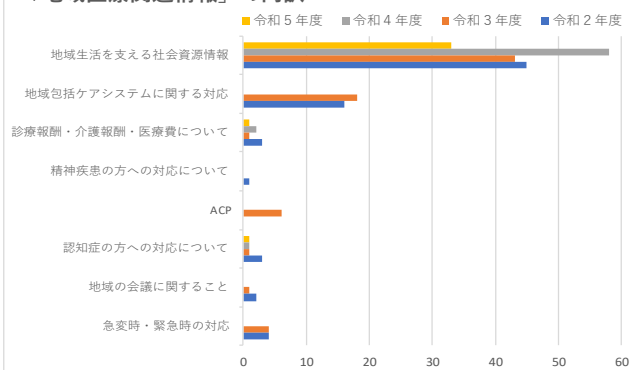
3. 相談種別



「地域医療関連情報」の内訳

| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|
| 地域生活を支える社会資源情報 | 45 | 43 | 58 | 33 |
| 地域包括ケアシステムに関する対応 | 16 | 18 | 0 | 0 |
| 診療報酬・介護報酬・医療費について | 3 | 1 | 2 | 1 |
| 精神疾患の方への対応について | 1 | 0 | 0 | 0 |
| ACP | 0 | 6 | 0 | 0 |
| 認知症の方への対応について | 3 | 1 | 1 | 1 |
| 地域の会議に関すること | 2 | 1 | 0 | 0 |
| 急変時・緊急時の対応 | 4 | 4 | 0 | 0 |

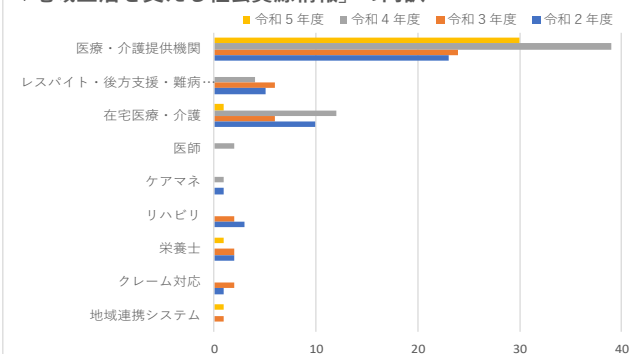
「地域医療関連情報」の内訳



「地域生活を支える社会資源情報」の内訳

| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-----------------------|-------|-------|-------|-------|
| 医療・介護提供機関 | 23 | 24 | 39 | 30 |
| レスパイト・後方支援・難病医療ネットワーク | 5 | 6 | 4 | 0 |
| 在宅医療・介護 | 10 | 6 | 12 | 1 |
| 医師 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| ケアマネ | 1 | 0 | 1 | 0 |
| リハビリ | 3 | 2 | 0 | 0 |
| 栄養士 | 2 | 2 | 0 | 1 |
| クレーム対応 | 1 | 2 | 0 | 0 |
| 地域連携システム | 0 | 1 | 0 | 1 |

「地域生活を支える社会資源情報」の内訳



Ⅲ. 今後の予定〔令和6年1月～3月〕

○緩和ケア多職種連携研修会

日 時：令和6年2月22日（木）18：00～19：30

場 所：Zoomによるオンライン

テーマ：「がん性疼痛の緩和について」

講 師：青木 佐知子 先生（JA 愛知厚生連海南病院 緩和ケア内科医師）

「がん性疼痛管理の薬剤について」

高木 健司 先生（はあと在宅クリニック弥富 医師）

「在宅での疼痛管理について」

○出張教室

日 時：令和6年2月19日（月）10：45～12：15

場 所：津島市立看護専門学校

テーマ：「地域医療における在宅医療・介護連携について」

対 象：津島市立看護専門学校 2年生

海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（通称：あまさぽ）

住 所：〒496-0005

愛知県津島市神守町字五反田2番地（津島市役所神守支所内）

T E L：0567-58-5989

F A X：0567-58-4559

U R L：<https://amasapo.ama.or.jp/>

M A I L：amc.sp@clovernet.ne.jp

開庁時間：平日8：30～17：15

